

平成28年11月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年4月12日

上場会社名 株式会社ティムコ
 コード番号 7501 URL <http://www.tiemco.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部長
 四半期報告書提出予定日 平成28年4月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 酒井 誠一
 (氏名) 中山 芳忠

TEL 03-5600-0122

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年11月期第1四半期の業績(平成27年12月1日～平成28年2月29日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年11月期第1四半期	663	5.0	△27	—	△24	—	△21	—
27年11月期第1四半期	631	△5.9	△31	—	△30	—	△24	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年11月期第1四半期	△8.62	—
27年11月期第1四半期	△8.86	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年11月期第1四半期	5,872	4,863	82.8	1,963.70
27年11月期	5,951	4,926	82.8	1,989.07

(参考)自己資本 28年11月期第1四半期 4,863百万円 27年11月期 4,926百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年11月期	—	0.00	—	12.00	12.00
28年11月期	—				
28年11月期(予想)		0.00	—	12.00	12.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年11月期の業績予想(平成27年12月1日～平成28年11月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,502	7.8	16	491.5	18	155.9	13	—	5.25
通期	2,980	5.0	49	105.9	52	70.6	41	—	16.56

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年11月期1Q	3,339,995 株	27年11月期	3,339,995 株
-----------	-------------	---------	-------------

② 期末自己株式数

28年11月期1Q	863,424 株	27年11月期	863,424 株
-----------	-----------	---------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年11月期1Q	2,476,571 株	27年11月期1Q	2,819,239 株
-----------	-------------	-----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に対する記述は、当社が現在入手可能な情報に基づき作成したもので、実際の業績はさまざまな要因によって大きく異なる可能性があります。なお、業績見通し等に関する事項は、【添付資料】P3「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間(自平成27年12月1日 至平成28年2月29日)における日本経済は、年明け以降、新興国経済の悪化を懸念して株安や円高傾向が進行しました。また、日銀によるマイナス金利政策の発表以降も設備投資や個人消費の節約志向は改善されず、弱含みな展開が続いております。

当社の関連するアウトドア関連産業においても、長引く個人消費の落ち込み等により、全般に厳しい市場環境となりました。

このような状況の中、当社では収益内容の改善に取り組むべく積極的に営業活動を行ってまいりました。その結果、当第1四半期の売上高は6億63百万円(前年同期比 5.0%増)となりました。

また、売上増加に連動して、営業損失は27百万円(前年同期間 営業損失31百万円)、経常損失は24百万円(前年同期間 経常損失30百万円)となり、四半期純損失は21百万円(前年同期間 四半期純損失24百万円)となりました。

セグメントの業績を示すと、次の通りであります。

(フィッシング事業)

フィッシング事業に関しては、昨年度発生したルアー用品の仕入れの遅延を改善し、適時納品を実行するとともに、フライ用品についても積極的に新製品を投入いたしました。

その結果、フィッシング事業の売上高は1億96百万円(前年同期比 2.7%増)となりました。また、セグメント利益(営業利益)は経費の削減により16百万円(前年同期比 321.3%増)となりました。

(アウトドア事業)

アウトドア事業に関しては、1月中旬まで続いた暖冬傾向による衣料品の個人消費減退のなか、冬物の販売を促進するため早期マークダウン(値引販売)を実施いたしました。

その結果、アウトドア事業の売上高は4億58百万円(前年同期比 6.0%増)となりました。また、セグメント利益(営業利益)は冬物衣料の値下げ販売等の影響を受け10百万円(前年同期比 43.3%減)となりました。

(その他)

その他の主な内容は、損害保険代理業の手数料収入ならびに不動産賃貸収入売上であります。当第1四半期累計期間に関しては、その他売上高は7百万円(前年同期比 9.8%増)となりました。また、セグメント利益(営業利益)は6百万円(前年同期比 4.4%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債、純資産の状況

(資産)

当第1四半期会計期間末の資産は、前事業年度末に比べ79百万円減少し58億72百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金の減少2億20百万円や受取手形及び売掛金の減少92百万円などの一方で、季節的な影響による商品及び製品の増加2億45百万円や有価証券の満期が1年内になったことに伴う投資有価証券からの振替による増加2億円などの影響により、前事業年度末に比べ1億53百万円増加し、42億2百万円となりました。

固定資産は、投資有価証券の有価証券への振替えなどによる減少2億18百万円などの影響により、前事業年度末に比べ2億32百万円減少し、16億70百万円となりました。

(負債)

当第1四半期会計期間末の負債は、前事業年度末に比べ16百万円減少し10億9百万円となりました。

流動負債は、未払費用の減少19百万円や未払消費税等の減少7百万円、未払法人税等の減少5百万円、返品調整引当金の減少17百万円などの一方で、支払手形及び買掛金が43百万円増加したことなどにより、前事業年度末に比べ7百万円減少し、7億59百万円となりました。

固定負債は、長期リース債務の減少5百万円や長期繰延税金負債の減少5百万円などにより、前事業年度末に比べ9百万円減少し2億49百万円となりました。

(純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べ62百万円減少し、48億63百万円となりました。これは主に、四半期純損失21百万円の発生や前事業年度決算の配当支出29百万円、その他有価証券評価差額金の減少11百万円などによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成28年1月19日発表の「平成27年11月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」に記載の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年11月30日)	当第1四半期会計期間 (平成28年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,274,909	1,054,410
受取手形及び売掛金	612,143	519,203
有価証券	814,248	1,014,982
商品及び製品	1,293,682	1,538,689
その他	55,289	76,298
貸倒引当金	△1,836	△1,558
流動資産合計	4,048,437	4,202,025
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	626,876	618,315
土地	653,376	653,376
その他（純額）	38,021	36,058
有形固定資産合計	1,318,274	1,307,751
無形固定資産	64,998	61,162
投資その他の資産	519,776	301,341
固定資産合計	1,903,049	1,670,256
資産合計	5,951,486	5,872,282
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	597,776	640,875
未払法人税等	12,794	7,532
返品調整引当金	24,544	7,495
賞与引当金	－	9,212
その他	131,452	94,357
流動負債合計	766,567	759,473
固定負債		
退職給付引当金	124,003	125,647
その他	134,831	123,924
固定負債合計	258,834	249,571
負債合計	1,025,402	1,009,044
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,079,998	1,079,998
資本剰余金	3,861,448	3,861,448
利益剰余金	446,167	395,112
自己株式	△478,024	△478,024
株主資本合計	4,909,590	4,858,535
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	16,493	4,701
評価・換算差額等合計	16,493	4,701
純資産合計	4,926,084	4,863,237
負債純資産合計	5,951,486	5,872,282

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成26年12月1日 至 平成27年2月28日)	当第1四半期累計期間 (自 平成27年12月1日 至 平成28年2月29日)
売上高	631,411	663,044
売上原価	364,237	391,942
売上総利益	267,173	271,101
返品調整引当金戻入額	24,365	24,544
返品調整引当金繰入額	6,257	7,495
差引売上総利益	285,281	288,149
販売費及び一般管理費	316,989	316,090
営業損失(△)	△31,707	△27,941
営業外収益		
受取利息	689	636
受取配当金	357	358
為替差益	324	1,759
その他	208	753
営業外収益合計	1,579	3,507
営業外費用		
その他	701	29
営業外費用合計	701	29
経常損失(△)	△30,830	△24,464
税引前四半期純損失(△)	△30,830	△24,464
法人税、住民税及び事業税	3,179	3,179
法人税等調整額	△9,032	△6,306
法人税等合計	△5,853	△3,127
四半期純損失(△)	△24,977	△21,336

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自 平成26年12月1日 至 平成27年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 2	合計 (注) 3
	フィッシング 事業	アウトドア 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	191,821	432,325	624,146	7,264	—	631,411
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	191,821	432,325	624,146	7,264	—	631,411
セグメント利益又は損失(△)	3,914	19,287	23,202	6,446	△61,356	△31,707

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△61,356千円は、各セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に管理部門等の一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っています。

II 当第1四半期累計期間(自 平成27年12月1日 至 平成28年2月29日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 2	合計 (注) 3
	フィッシング 事業	アウトドア 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	196,995	458,070	655,066	7,977	—	663,044
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	196,995	458,070	655,066	7,977	—	663,044
セグメント利益又は損失(△)	16,490	10,934	27,424	6,727	△62,094	△27,941

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△62,094千円は、各セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に管理部門等の一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っています。